西尾市行政改革 第2次実行計画(第5号)!

平成11年11月22日決定

一課一行革実施計画書

番号	担	当言	课 名	事	業	名	見	直し	内	容	今 :	後の	方 針	等
1	人事	秘	書課	貨紙幣類年	建運送保險	食事務の削減	給与の現金支	払者をなく	し、口座	振込とすれば保	口座振込の	の協力を	求める。	
							険料の支払いが	なくなり、ま	また、こ	れに伴う事務の				
							削減を図れる。							
2	人事	秘	書課	出張命令書	作成事務の	D簡素化	旅費の無支給	地専用の出	長命令書	を作成し、事務	平成 1 1 1	≢10月	1日実施	色
							の簡素化を図る	。(複写式か	ら単票式	、請求領収印の				
							廃止、記入項目	の簡素化)						
3	人事	秘	書課	週休日の振	養替及び半日	日勤務時間の	正規の勤務時	間帯の1日	又は午前	か午後の全てを	実施時期	平成 1	2年4月	1日
				割振り変更	の取扱い		勤務した場合に	加えて、時間	間帯に関	係なく8時間又				
							は4時間を勤務	した場合も打	辰替又は	割振り変更がで				
							きることとする。	5						
4	企画	調	整 課	西尾幡豆瓜	域市町村園	圏協議会事務	近隣市の状況	を参考とし、	事務局	の在り方の見直	広域連合	没立の方	う向で幡	豆郡3町
				の軽減			しを行い、会長	市の事務負担	旦の軽減	を図る。	と調整を記	進める。		
5	情	報	課	広報にしま	D T P 編集	 長事務	広報紙専用編	集ソフトを	利用した	コンピューター	実施時期	平成 1	2 年度	
							DTPによる編:	集により、糹	偏集事務	の軽減を図る。				

番号	担	当 課	名	事業名	見 直 し 内 容	今後の方針等
6	情	報	課	全庁 L A Nによるグループウェア	パソコンの単体利用から有機的に外部施設や庁内	実施時期 平成12年度
				の新規導入	施設と複数台結合することにより、パソコン機能を	
					さらに発揮させ、事務の効率化を図る。	
7	総	務	課	文書法規事務	内部会議用、自己用の資料のコピーについては、	可能な範囲で実施
					ミスコピーの裏面を使用することにより、コピー紙	
					の削減を図る。	
8	総	務	課	交通評議員の廃止	町内会長が兼務している交通評議員制度を廃止	実施時期 平成12年4月1日
					し、経費の節減を図る。	
9	税	務	課	固定資産評価審査委員会視察研修	県外先進地への視察研修(1泊2日)を、3年間	全庁的に実施
					の任期中で1回とし、旅費の節減を図る。	実施時期 平成12年度
1 0	契約	的 検 査	課	競争入札参加者の指名決定につい	決裁を助役までとし、事務処理の迅速化を図る。	決裁区分(金額)は今後調整
				ての決裁区分の見直し		実施時期 平成12年度
1 1	保優	建センタ	7 —	保健センター運営委員会と健康づ	健康づくり推進協議会を保健センター運営委員会	実施時期 平成13年度中
				くり推進協議会の統合	に吸収統合することにより、経費の節減を図る。	
1 2	看護	事門 等	ዸ校	補助金(文化交流会助成金)の廃	文化交流会実行委員会(学生で構成)への助成金	平成11年度から実施
				止	を廃止する。	
1 3	商	I	課	みどり川四九朝市組合補助事業	みどり川四九朝市は9年目を迎え、順調に発展し	実施時期 平成12年度
					ている。補助金の交付額を減額し、朝市組合の自立	一定期間経過した後廃止
					を促す。	
1 4	環	境	課	一市三町環境部門統合	ごみの収集から中間処理、最終処分まで全てを広	広域化の方向で幡豆郡 3 町と調整
					域で実施し、効率化を図る。	を進める。

番号	担当課名	事業名	見 直 し 内 容	今後の方針等
1 5	環 境 課	衛生委員会議の開催	中学校単位などで開催し、全体の開催回数を減らす	実施時期 平成12年度
			ことにより、時間外勤務手当の削減と事務の軽減を図	
			る。	
1 6	土 木 課	西尾幡豆土木事業促進協議会	県岡崎土木事務所管内に岡崎土木協議会があり、こ	廃止の方向で幡豆郡3町と調整を
			こで土木事業の振興を進めているので、促進協議会は	進める。
			廃止する。	
1 7	建 築 課	生垣設置費補助事業	昭和60年度からの事業であり、目的、補助金限度	実施時期 平成12年4月1日
			額などの見直しを行う。	
1 8	建 築 課	公共施設建設プロジェクトチーム	公共施設の建設プロジェクトチームを編成し、複合	実施時期 平成12年度
		設置事業	施設の建設を進め、用地の確保、建設費の削減、施設	
			の有効利用等を図る。	
1 9	下 水 道 課	下水道使用料の料金徴収事務	下水道使用料と水道使用料を同時に徴収するシス	水道企業団と調整を進める。
			テムを構築し、使用料徴収事務の合理化を図る。	
2 0	出 納 課	FPD口座振替通知書のシーラー	口座振替通知書のシーラー化を行い、個人情報保護	実施時期 平成12年度
		化	のため今後増加が見込まれる経費の節減を図る。	
2 1	議会事務局	にしお市議会だより	単独で発行しているが、「広報にしお」の中で「に	実施時期 平成12年度
			しお市議会だより」を掲載し、配布の手間と経費の節	
			減を図る。	
2 2	監査委員	決算審査意見書の印刷	パソコンで原稿を作成し、印刷、製本のみ外注とす	実施時期 平成12年度
	事 務 局		ることにより経費の節減を図る。	
2 3	教育委員会	私立高校授業料補助金交付決定通	外注印刷の通知書(ハガキ)を庁内印刷とすること	平成11年10月実施
	庶 務 課	知書の印刷	により、経費の節減を図る。	

番号	担 当 課 名	事 業 名	見 直 し 内 容	今後の方針等
2 4	学校教育課	教職員等研究研修事業	委託先が同一で、業務の内容が類似しているもの	実施時期 平成12年4月1日
			は一本化し、事務の簡素化と委託料の節減を図る。	
2 5	社会教育課	たくましい西尾っ子大会	来場者の減少、マンネリ化の傾向にあるので、内	実施時期 平成12年度
			容を見直し、3年ごとの開催とする。(平成11年度	
			は休止)	
2 6	消防本部	合服の貸与	着用の機会が少ない合服、合正帽の貸与を中止し、	実施時期 平成12年度
	庶 務 課		経費の節減を図る。	
2 7	予防防災課	市民消火隊長会議	開催時間帯を平日の夜間から平日又は休日の昼間	実施時期 平成12年度
			に開催し、食事は出さないようにする。	
2 8	消 防 署	再任用制度の有効活用	消防職員の定年退職者を再任用し、消防訓練、救	実施時期 平成13年度
			急法、普通救命講習会、防火管理講習会等の指導者	
			とする。訓練等開催中に発生した災害への適切な対	
			応が図れる。	

番号	担 当 課 名	事 業 名	見 直 し 内 容	今後の方針等
2 9	文化振興課	自費出版物補助事業の選考委員等	自費出版物審査委員会の委員の見直しを行い、経	実施時期 平成12年度中
		の見直し	費節減を図る。	
3 0	図書館	建物消毒等委託料	燻蒸業務を廃止し、委託料の削減を図る。	実施時期 平成12年度中
3 1	消防庶務課	西尾市水防団助成金	補助金を廃止し、経費節減を図る。	実施時期 平成13年度
3 2	予防防災課	防火管理講習修了証の変更	修了証を手帳式からA4版の用紙に変更し、経費	実施時期 平成13年度
			の節減と事務の簡素化を図る。	
3 3	消 防 署	署所間の事務連絡方法について	道路工事届、水道断減水届、火災とまぎらわしい	外部施設のネットワーク化開始時
			行為届等事務連絡をコンピュータに入力し、事務処	
			理の効率化を図る。	
3 4	西 分 署	服務日誌及び通信日誌の変更	服務日誌、通信日誌、事務引継ぎ書をパソコンで	実施時期 平成12年度中
			作成し、事務の簡素化を図る。	